

人々の生活とつながりを育む河川 ～佐奈川を美しくする会の取り組み～

1 社会資本の概要

佐奈川は、清流櫛田川の支流であり、合流して伊勢湾に注いでいます。豊富な水量は主に農業用水などに利用されるなど、地域住民の生活と密接なかかわりを持ってきました。しかし、近年の護岸改修に伴い安全性が向上する反面、川と子供たちの関わりが希薄となり、地域でも「汚れた川」としてイメージが定着するほどゴミが散乱していました。

地域の「昔の川を取り戻したい」「憩いの場にしたい」「子供たちに関心をもって欲しい」との思いから、佐奈川を美しくする会が発足しました。活動により、小魚が少しずつ増え、豊かな自然を取り戻しつつあります。



佐奈川（三重県多気郡多気町）



菜の花による景観づくり

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

佐奈川への取組のきっかけは、一企業の環境貢献活動として平成16年からはじまりましたが、地域住民や企業、行政を巻き込み、理解者が増え徐々に活動の輪がひろがり、発展してきました。平成20年に地域住民主体による「佐奈川を美しくする会」を設立し、住民・企業・行政による強固な協力体制を確立しました。清掃活動、水生生物の保全や環境学習、菜の花による景観づくりなど幅広く活動を展開し、平成25年からは絶滅危惧種（アゼオトギリ草）の保全と繁殖にも取り組んでいます。

活動に参加しやすいように、ゴミ拾いと草刈りだけでなく、若者や子育て世代が楽しめるイベント（河川敷に花を咲かせる活動、魚の放流、生物観察会など）を取り入れています。さらに活動紹介を企業が作成し、行政のネットワークで情報発信しています。

その結果、地域全体がふるさとを知り、環境意識の向上と佐奈川への愛着が増えています。



住民・企業・行政による草刈りやゴミ拾い



魚の放流



生物観察会

三重県 多気郡多気町 佐奈川を美しくする会

3 活動の成果や波及効果等

佐奈川および河川敷広場、桜堤公園を主な活動フィールドとして活用することで、多くの地域住民が活動に参加し、地域の環境意識が高まり、不法投棄を含めたゴミを減らす等の効果ができています。

佐奈川で絶滅危惧種アゼオトギリ草が48年ぶりに発見されました。会員一同さらに士気が高まり、その保全と繁殖にも本格的に取り組みはじめました。これまでには交流の少なかった地域の農業団体や、久居農林高校とも交流を深め、更に福井と三重での地域を越えた新たな交流活動も始まり、多様な活動に発展しています。



絶滅危惧植物の保全（移植）



種まき（絶滅危惧種 アゼオトギリ）

喜びの声



受賞者

佐奈川を美しくする会
会長 扇田 榮夫

コメント

この度は手づくり郷土賞一般部門に選定頂きありがとうございます。これからも地域住民・行政と企業が手を組んで、ゴミ拾いと草刈りだけでなく、河川敷に花を咲かせたり、多くの魚が棲みつき夏になると子供たちが泳げる美しい川にしていきたいと考えております。

活動内容

清掃活動、魚の放流、生き物調査、
菜の花による景観づくり など

活動の経緯

平成16年 シャープ三重工場
環境貢献活動スタート
(周辺地域住民、学校、役場へと拡大)
平成19年 国土交通省との連携
平成20年 佐奈川を美しくする会設立
平成25年 絶滅危惧種の保全と繁殖

手づくり郷土賞
について

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

三重県多気郡多気町五佐奈1177-1

活動主体及び連絡先

佐奈川を美しくする会 (0598-38-8366 事務局(シャープ三重工場))

対象となる社会資本

一級河川佐奈川
※管理者：国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所

